

# 本購入で地域活性化

## 朝霞の書店「1冊1円を市に寄付

本や文具類を購入してくれば、1冊につき1円を地元の自治体に寄付します。読書離れが叫ばれ、街角から本屋さんを消す中、地域に貢献しようと、朝霞市の書店がこんなプロジェクトをスタートした。同店は「地域で買物をする」ことに新しい価値をプラスし、地域の活性化につなげたい」としている。(毛利伸一)



プロジェクトを開始した書店「CHIENOWA BOOK STORE」—朝霞市本町2丁目

プロジェクトを始めたの「東上線朝霞駅の駅ビルで「C STORE」を経営する「二進堂」(山崎幸治社長)。プロジェクト名は「1 Book for Asaka」。

同店が発行するポイントカードを提示して購入した本や文具類1点につき1円を、朝霞市に寄付する。初年度は年間15〜20万円を想定し、同市が2019年に開設予定の同市本町2丁目の児童館への寄付を予定している。

ネット通販で何でも購入できる時代に、地域で買物をすることに対する新しい価値の創出が目的。書店を取り巻く経営環境は厳しいが、気軽に立ち寄れる公共性の高い書店だからこそ、市内の経済に寄与するために売り上げの一部を寄付することを決めた。

同社は1947年創業。書籍をはじめ、文具や雑貨類を販売し、地域の書店として親しまれているほか、自社ブランドで小説をモチーフにした洋服といったオリジナルグッズを企画して生産・販売したり、企業内に推薦本を配置する図書館サービスを行つなど、多様な事業に取り組んでいる。

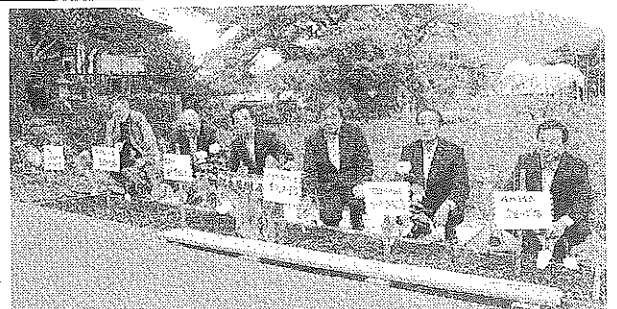
プロジェクトについて、同店は「自社だけではなく、市内の別の業者でも広がれば、地域の活性化につながる」と期待を寄せている。

### 八塩地域開発協 創立40周年で式典

群馬・藤岡の浄法寺

八塩地域開発協会(堀口昌宏会長)は17日、創立40周年記念式典を群馬県藤岡市浄法寺の八塩館駐車場特設会場で行った。

同協会は、八塩地区の人たちがアジサイによる花と緑の山里の地域づくりを目的に設立。浄法寺と鬼石地域にまたがる八塩温泉郷内のあじさいの里を整備。約5千株のアジサイが咲き誇り、観光客に人気となっている。



八塩山八福神社を参拝後、神川町の陶芸師栗林隆博

## 人前に出る気持ち良さを

秩父小 農工科高生が児童に演劇体験



高校生と一緒に演劇を体験する児童たち16日、秩父市大野原の市立原谷小学校

秩父市大野原の市立原谷小学校(黒田富衛校長、児童数571人)で16日、地元の高校生と「プチ演劇鑑賞と演劇遊び」が行われ、約30人の児童が演劇を体験した。

原谷小学校PTA教養部が主催し、昨年に続いて2回目。同部の部員39人はダンスや卒業式の前日をテーマにしたオリジナルの演劇を披露した。児童たちは8グループに分